

北公民館

大間分館

家庭教育学級のスタートをきる！

少子、共働き、核家族化がすすむ中、現在の子育ては思いのほか難しくなっています。「地域と家庭が連携した子育て」を目的に、分館家庭教育学級がスタートしました。

5月27日(火)、大間集会所で地域の方や愛護部の保護者の方々34名が集まり、「子どもが育つ環境づくり」と題して、

社会教育推進員中岡典子先生のお話を中心に、地域の子どもを健全に育てるための意見交換が行われました。それでは、参加者の方の声を聞いてみましょう。

家庭教育学級から
学んだもの

大間分館愛護部長
大政広美

5月27日(火)、大間では分館家庭教育学級を開催しました。講師は以前岡田小学校にも勤務されたことのある中岡典子先生で、参加者の方の中には顔見知りの方もあり、親近感をもって話をきくことができました。

また、「素晴らしき思春期」というビデオを見せていただき、子どもたちの声や専門家のアドバイスがわかりやすく収録されていました。思春期前の3人の子を持つ私にはうつつつけのもので、反抗期のたびに感情的に叱っていたこと

これから、岡田校区の各分館で家庭教育学級がくりひろげられていきます。一人でも大勢の方が、子育てについて考える機会になれば幸いに思います。



▲講師の社会教育推進員中岡典子先生



▲家庭教育学級の様子 (大間分館)

を思い出しました。思春期に入り、反抗や対立があるのはあたり前で、頭ごなしに叱らずひと呼吸おいて、違う方向からアプローチすることや、子どもは家庭や社会で一人の人間として役割を持つことの大切さを感じました。

元気のいいあいさつがあたり前にでき、大勢の方々とコミュニケーションをとりながら、素晴らしい子どもたちが育っていくよう見守っていきたいと思います。貴重なお話ありがとうございました。

補導センターだより

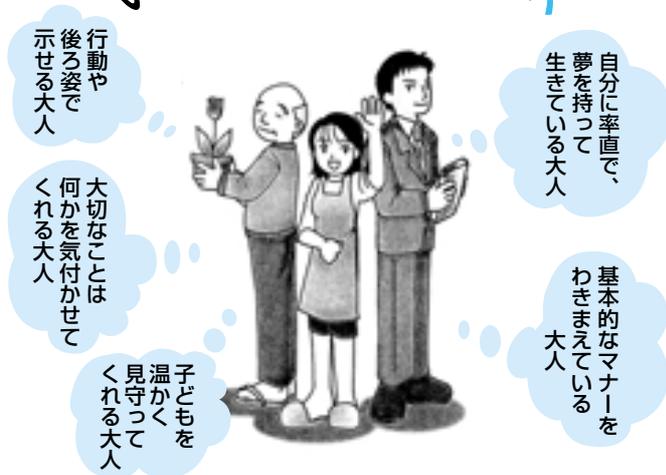
大人が変われば子どもも変わる

松前町青少年補導センター所長

村上朋子

青少年育成国民運動では、今の青少年の状況は現代社会や親・大人の生き方などが少なからず反映したものと受け止め、青少年の心を育てるキャンペーンとして「大人が変われば子どもも変わる運動」に取り組んでいます。7月は、青少年を非行から守る強調月間です。私たち大人に何ができるか、何をしなければいけないか考え、ぜひ、行動を起こしていただきたいと思います。

いい“生き方”をしている大人



心の広い大人

- ★子どもの立場に立って考えられる大人
- ★子どもの話を聴いてあげられる大人
- ★子どもと一緒に悩み、考えることができる大人
- ★子どもを励ましたり、良いところは褒め、悪いところは叱れる大人